

世田谷区資源循環センターリセタは、区内で資源として出されたガラスびんを選別し、資源化するための施設です。

施設概要

- 事業主体 / 世田谷区
- 施設名称 / 世田谷区資源循環センター リセタ
- 所在地 / 世田谷区大蔵1丁目1番12号
- 最大処理能力 / 72.2 t / 日
- 敷地面積 / 1,181.23 m²
- 建築面積 / 646.31 m²
- 延床面積 / 1,294.18 m²
- 開設 / 平成20年4月
- 処理対象物 / ガラスびん
- 総事業費 / 5億820万円(税込)
<循環型社会形成推進交付金対策事業 交付額1億7,095万円>



ガラスびんの出し方

中をすすいで黄色いコンテナへ

飲み物・食品用の空きびん



※キャップは外して
 { 金属製は**不燃ごみ**へ
 { プラスチック製は**可燃ごみ**へ



袋は入れないで!

資源として回収できません! → 不燃ごみへ

- 油の付着したびん
- 農薬や劇薬などの薬品が入っていたびん
- びん以外のガラス (板ガラス、コップ、耐熱ガラス製品など)
- 陶磁器類



一升びんやビールびんなどくり返し使えるガラスびん(リターナルびん)は、基本的にそのガラスびんを買った販売店に返しましょう!



世田谷区体験学習用ごみ収集車「カティ」のイメージキャラクター

施設の特徴

世田谷区資源循環センター リセタは、区内で資源回収したガラスびんをリサイクルするとともに、環境保全や公害防止のための様々な取り組みを行っています。また、敷地内の緑化や省エネルギー化など、環境にも配慮した施設です。



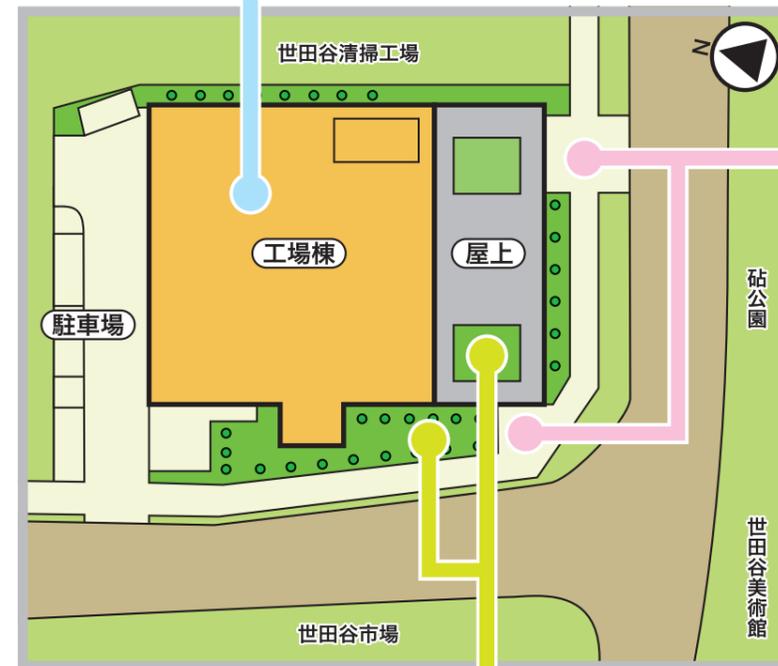
屋内処理
 騒音防止のため、機械はすべて屋内に設置し、作業も屋内で行います。また、外観も周辺の景観との調和を図るよう留意しています。



集じん機(バグフィルタ)
 貯留ホッパからの積み込みの際に発生する、粉じんを捕集します。



オゾン脱臭装置
 作業場内で発生する臭気を脱臭します。



太陽光利用照明外灯
 太陽エネルギーを利用して発電し、CO₂の排出削減と、環境への負荷軽減を図っています。



スラグの利用
 世田谷清掃工場などで生成されたスラグ®を敷地内の舗装(下地)材やインターロッキングとして活用しています。

※「スラグ(人工砂)」とは可燃ごみを焼却したときにできる灰を、電気やガスを使って1,200℃以上の高温に加熱し、熔融・固化してできる砂に似た物質です。スラグは建設資材等として、道路のアスファルト舗装や配管類の埋め戻し、インターロッキングブロック等の材料として広く利用されています。



周辺環境と調和した植栽
 緑地部分は、ケヤキ、ツツジ等を中心に周辺と調和した季節感のある植栽としています。また、屋上や壁面の一部を緑化し、ヒートアイランドの抑制や緑豊かな周辺環境との調和に努めています。



誰もが安全・快適に利用できる施設
 障害のある方や、高齢者など、誰もが施設を安全・快適に見学いただけるよう整備しています。(世田谷区ユニバーサルデザイン推進条例公共的施設整備基準適合施設)



ガラスカレットの活用
 ガラスびんをリサイクルして生成したインターロッキングブロックを活用し、玄関前をポケット広場風に仕上げています。